

## ライフパック CR Plus のメンテナンスについて

### 【インディケータの見かた】

図 1-1 をご参照ください。

(ライフパック CR Plus のインディケータは本体上部にあります。)

LIFEPAK CR<sup>Plus</sup> は定期的にセルフチェックをします。インディケータを常時確認してください。


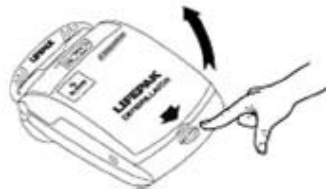
正 常	 OKインディケータ	使用可能
CHARGE-PAK充電器 交換時期	 CHARGE-PAKインディケータ	緊急時使用可能 CHARGE-PAKを速やかに 交換してください。
内蔵バッテリー残量少 最初に点灯時のバッテリー容量: 6回電気ショック可又は 45分継続電源ONが可程度	 注意インディケータ	緊急時使用可能 大至急CHARGE-PAKを 交換してください。
正常に動作しないか、 動作が妨げられる可能性あり	 レンチインディケータ	使用不可 大至急点検をうけてください。

図 1-1

## 【QUIK-PAK 電極と CHARGE-PAK 充電器の交換方法】

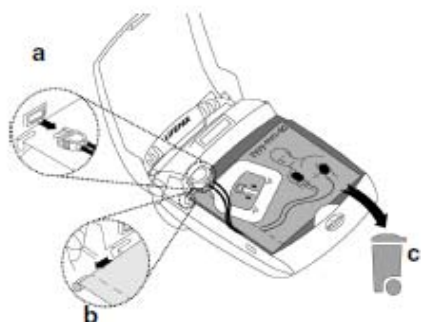
### 1. QUIK-PAK 電極



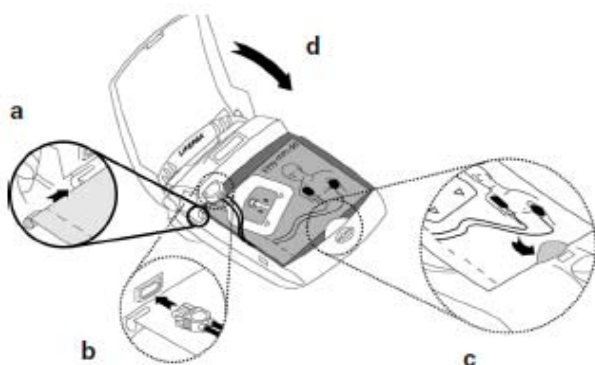
- 1 除細動器の「オン-オフ」ボタンを押して蓋を開け、電源を入れます。



- 2 「オン/オフ」ボタンを3秒間押し続け除細動器の電源を切り、電池の消耗を防止します。

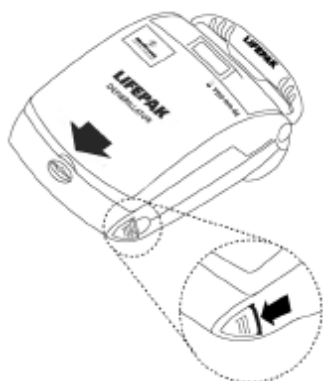


- 3 期限切れや使用済みの QUIK-PAK 電極は除去します。
  - a 電極コネクタをコネクタソケットから抜きます。
  - b アンカーピンをスロットからスライドさせます。
  - c 使用期限が過ぎたり使用済みの QUIK-PAK 電極は各地方自治体の規制に従って廃棄します。

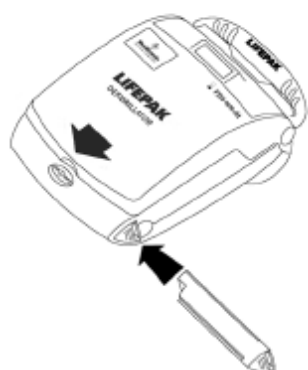



- 4 新しい QUIK-PAK 電極を装着します。
  - a アンカーピンをスロットからスライドさせます。
  - b 電極コネクタをコンセントに差し込みます。
  - c 新しい QUIK-PAK 電極を除細動器の中央に来るようにし、差し込み口にはさみ込んでから蓋を閉じます。
  - d 蓋を閉めます。蓋を閉じて、QUIK-PAK 電極の使用期限の日付が右上隅に見えることを確認します。

## 2. CHARGE-PAK 充電器





- 1 リリースラッチを ( 矢印の方向に ) 押して、使用済み CHARGE-PAK 充電器を取り出します。CHARGE-PAK 充電器はばねの力で除細動器から外へ押し出されます。



- 2 カチッと音がするまで新しい CHARGE-PAK 充電器を除細動器に押し込みます。
- 3  インディケータが消えて OK シンボルが準備完了表示部に現れたことを確認します。

注：CHARGE-PAK 充電器を交換した後、注意シンボル

 が表示された場合は、内蔵電池を十分に充電するのにさらに時間がかかります。除細動器を長時間オンにしたままにしておいたり、何度も電気ショックをすると、充電に最大 3 日かかります。内部バッテリーが充電されると OK シンボルが表示されます。

重要：除細動器が緊急時に必要になったら、 シンボルが表示されていても使用を試みてください。

## 【放電と廃棄について】

### 1. 放電方法



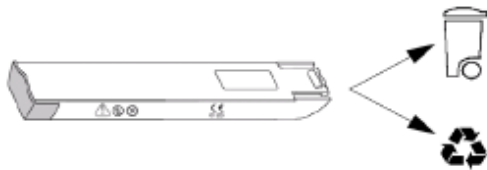
- 1 使用済み CHARGE-PAK 充電器に放電器を差し込みます。



注：一度入れたら、放電器は抜かないでください。



- 2 放電器で CHARGE-PAK 充電器を完全放電します。少なくとも9日間放置します。



- 3 使用済み CHARGE-PAK 充電器は廃棄するかリサイクルしてください。

### 2. 廃棄について

CHARGE-PAK 充電器は放電後、各地域の廃棄規則に従って廃棄処理してください。